



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年7月21日発行
No 4 文責 小林

環境

北高コラボ授業

キャリア



先日の3年生に続いて、1, 2年生が「川の学習」を行いました。3年生は、機関庫の川の現状を把握し、自分達にできることは何かを考える課題解決学習として取り組んでいきますが、低学年は、純粋に「自然に親しむ」ことを目的としています。また、高校生のお兄さん、お姉さんにお世話になることで、高校生の姿に憧れを抱いたり、人のかかわり方を学んだりするなど、キャリア教育の要素も含まれています。

今回は、2日間で、のべ150人以上もの高校生が参加してくださいました。マンツーマンでお世話になることのできる恵まれた環境で授業をすることができたので、本当に有意義な時間を過ごすことができたと思います。昨年と比べると駆除が進んでいるのか、個体数が少なく1匹も捕れない子どもたちもいましたが、授業後の感想に「ザリガニは捕れなかったけれど、お兄ちゃん、お姉ちゃんと楽しく過ごすことができたので嬉しかったです。」と、「かかわり合う」喜びをしっかりと感じることで、それが大きな収穫だったと思います。

このように、文教ゾーンを効果的に活用することで、学校の教育活動がどんどん充実していきます。それも地域の協力があってのことです。この環境にあぐらをかくことなく、感謝の気持ちを忘れずに活動していきたいと思っています。

子どもたちの感想から

川に入るとき、いっしょに入ってくれてありがとうございました。お姉さんといると楽しかったです。いろいろとたよりになって、友だちになれてよかったです。(2年1組)

ゆづきお姉さん、8ばんのみんなをしばいしてくれてありがとうございます。お姉さんや、8ばんのえがおを見ることができてうれしかったです。(2年2組)

<一部抜粋>

お姉さんは、わたしが「つめたい。」と言ったら「大じょうぶ。」と声をかけてくれました。こんどは、わたしがたすけて、声をかけますね。(2年3組)

さかなやザリガニをいっばいつつてくれてありがとうございます。つぎにきたとき、わすれないでいてください。わたしもわすれません。(2年4組)

<一部抜粋>

いっしょにザリガニつってたのしかったよ。またどこかであおうね。おねえちゃんがいたからほんとうに、ほんとうにたのしかったよ。(1年1組)

きたこうのおにいさん、おねえさんへ。ざりがにをおねえさんといっしょにつることができて、たのしかったよ。(1年2組)

<一部抜粋>

いっしょにざりがにつりをしてくれてありがとう。やさしくしてくれてありがとう。だいすきだよ。(1年3組)

おにいさん、おねえさん、ざりがにはとれなかったけど、たのしかったよ。こんどあつたら、こえかけるね。(1年4組)

<一部抜粋>